

よりあいクラブ 明舞	<h1>ひまわり</h1>	2004年1月14日 第2号 明舞団地明舞センター Tel/fax078-783-7784
---------------	---------------	--

「待っていましたが、こんな食堂」 1日40食ペース定着

1月から週4日営業、配食サービスもテスト実施

昨年10月30日に開業したNPOひまわり会の「よりあいクラブ明舞ひまわり」は、当初の「ふれあい食堂」週2日を12月から週3日営業に増やし、1月からは週4日（月、火、木、金）体制に踏み切りました。

当初めざした1日40食のペースがほぼ定着したのと、固定客がじわじわ増え、調理ボランティア体制も整ってきたからです。12月末からは食堂へ出かけられない高齢者に昼食を届ける配食サービスの予約も受付を開始し、年明けからサービスをはじめました。喫茶のほうも順調で、食事タイム以外にも150円おいしいコーヒーを飲みながら談笑できる「ふれあい喫茶」を楽しみに来られる高齢者のファンもできました。

野菜の週5日販売定着、常連客も

一方、野菜の販売は当初から月、火、木、金、土の週5日体制に踏み切り、馬場店長が孤軍奮闘して常連客がついてきました。まだ売り上げの面では当初目標には届きませんが、食堂、喫茶部門との連携で浸透中です。開店時に次いで11月末と12月末には特別価格での売り出しを実施し、明舞団地内に大量に配布したチラシによって「ひまわり」の名が知られつつあるようです。

おせち予約も完売

年末には、自宅での手の込んだ“おせち”作りのお手伝いをと、黒豆、ごまめ、伊達巻など6種類のおせち料理の予約を受け、29日にお渡ししました。調理ボランティアスタッフが得意とする品を自宅で作り、手づくりの心を込めて作っただけに、20食の限定でしたが大好評でした。



調理中のボランティアスタッフ

食堂の利用者アンケートを実施

12月中ごろの一週間、食事をされた利用者アンケートをお願いしました。

16名から回収できました。利用頻度は、3分の1が「毎回利用」しており、週2回が1人、週1回が3人、月に2、3回が5人と常連客が増えている。配食サービスでも夫婦で毎日予約したいと相談に訪れた高齢者もあり、旬とほんものの味に魅力を感じる高齢者のニーズに応えている実感を強めています。

食事メニューについては「うす味がよい」「からだにやさしい」「栄養のバランスがよい」「食材がよい」という評価をいずれも10人から11人が挙げており、「ひまわり」の特徴をあらわしています。これまでのメニューは「みんな良かった」と5人の人が答えたほか、肉じゃがやクリスマスのビーフシチュー、炊き込みごはん、おから、野菜のかき揚げ、煮魚、生春巻き、炊き合わせなどが気に入ったメニューに挙げられた。

野菜の販売については、日ごろから有機野菜や無農薬野菜に「こだわっている」と「あまりこだわっていない」人が、ややこだわり派が多いが合い半ばしました。野菜の価格は「値段が手ごろ」「新鮮」などが多かった。

今後ひまわりで期待する事業としては、体のほぐし体操、折り紙のほか、フラワーアレンジメント、おしゃべりタイム、健康法の情報交換会、楽しい会話などが挙げられました。

応援・声援・支援

「こんな食事が食べたかった」

菜のはなの会、ウイメンズネット神戸の松村弘子さん

安全な、からだにいい、そしておいしいものを食べたい。「ひまわり」のお店で出されたお昼の定食は、まさにそんな願いを満たすものでした。主菜のほかに汁物、煮物、和え物、漬物などがつくのですが、そこで使われる野菜の調理の仕方が実にいいのです。人を元気にし、幸せにする献立だなあと思いました。

近くの人らしいお年寄りがこられます。自宅ではこんなに手をかけた食事はちょっと作れない。ここに来ればほんものの家庭の味が楽しめ、食べること以外の出会いもあるでしょう。若い人が来られたら、こんな食事が理想的な食事なんだと、直接見て、味わって、からだで覚えることもできるでしょう。

(中略) 食を通して人と人、人と自然のふれあいを、また、地域のコミュニティの活性化をめざしたいとのこと。私もいまや老人の一人として、こんなふれあいの場があることはとても心強いことです。

(菜のはな通信318号から。松村さんは、ひまわりの入江一恵さんがウイメンズネット神戸で講演をしたあと、知人を誘い合ってひまわりに来ていただきました)



多くの人々から応援、支援 ありがとう

ひまわりの開店にあたり、NPOひまわり会には地元だけでなく、全国のたくさんの方々から応援・支援をいただきました。年末までにいただいた出資金(正会員)は20人、寄付金・カンパも41件、合わせて約135万円に達しました。

とくに代表の入江一恵さんがこれまでに培ってきた

食と暮らしをつなぐ活動の仲間の方々が大きな関心をよせていただき、全国各地から激励が届きました。

資金以外にもじゃがいもなどの食材、調理器具や食器類、調度品など、ひまわりの開店にはたくさんの人たちの応援がありました。入江さんは「ひまわりは、忘れられた旬と季節、ほんものの味を取り戻す食の広場をめざし、食をとおした福祉コミュニティづくりを実現したい」と、胸を熱くしながら、27人のボランティアスタッフたちと毎日、調理場の陣頭指揮に立っています。

食事の宅配 受付中

食堂に出かけられない明舞団地の高齢者のご自宅に昼食をお届けします。

(前週の予約制) 昼食 人600円



ひまわりの女将さん

ボランティア募集中！！

ふれあい食堂の調理、食事・喫茶サービス、配食サービスにはたくさんの方のボランティアが必要です。ほんものの食事を提供するしごとを、一緒に楽しくやりませんか。ご連絡をお待ちします。